



2024年1月17日

国と北海道による支援を受けたH100形車両を新たに4両追加します

- 昨年度に引き続き、国（鉄道・運輸機構）と北海道による助成・補助制度を活用したH100形車両を新たに4両追加し、2月から順次運行を開始します。
- 当該車両は、1両あたり約2.8億円（計約11.4億円）で北海道高速鉄道開発株式会社（道高速）に取得していただき、当社が無償貸与を受けます。支援に感謝申し上げます。
- これにより、H100形のラッピング車両は、8両となります。
- 地域の特色を活かしたラッピングに加え、内装も一般のH100形から変更し、定期列車として運行するほか、観光列車としても活用します。

1 道高速が保有するH100形車両の配置計画について

- 2023年度は、4両（室蘭線、日高線、根室線、宗谷線のラッピング車両）を線区近傍の運転所に配置します。

2 運行について

- 定期列車として、旭川～名寄・網走・富良野間、網走～緑間、長万部～苫小牧間、室蘭～東室蘭間で運行します。

（※上川～網走間および網走～緑間は、3月ダイヤ改正以降に運行します）

- そのほか、観光列車としても運行する予定です。

3 車両概要について

- 外装は、1両ずつ線区の特色をアピールするラッピングを施し、内装も観光列車としても使用できるよう一般のH100形から変更します。

(1) ラッピングデザイン

○ 2023 年度に配置する車両

・室蘭線ラッピング



車 号 : H100-84 号

運行区間 : 室蘭線 長万部～苫小牧間
室蘭～東室蘭間



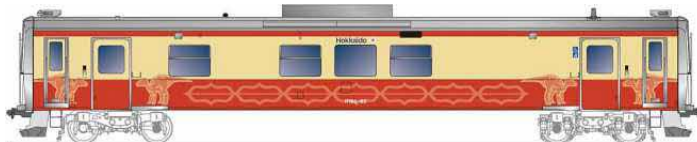
デザイン : 空知で産出した石炭を室蘭港から運び出す目的で敷設された「室蘭線のルーツ」を石炭車のデザインで表現

・日高線ラッピング



車 号 : H100-85 号

運行区間 : 室蘭線 長万部～苫小牧間
室蘭～東室蘭間



デザイン : 旧国鉄一般気動車標準色をベースに、日高と胆振の共通項である「アイヌ文化」と「馬産地」を表現

・根室線ラッピング



車 号 : H100-86 号

運行区間 : 宗谷線 旭川～名寄間
石北線 旭川～網走間
釧網線 網走～緑間
富良野線 旭川～富良野間



デザイン : 沿線市町の四季折々の景色や名物を賑やかに盛り込んだデザインで表現

・宗谷線ラッピング



車 号 : H100-87 号

運行区間 : 宗谷線 旭川～名寄間
石北線 旭川～網走間
釧網線 網走～緑間
富良野線 旭川～富良野間



デザイン : 鉄道と天塩川を直線や交わりで表現し、ラインは沿線を表現した幾何学模様をモチーフにした

※ 上川～網走間および網走～緑間は、3月ダイヤ改正以降に運行します

(2) 車両の内装について

内装は観光列車としても使用できるよう、一般のH100形から変更しております。座席シート生地デザインには、タンチョウやエゾマツなど、北海道の自然や風景をイメージした絵柄を取り入れています。また、新しく追加するテーブルには、北海道産のタモ材を使用しており、吊り手にも木材を使用し、より北海道の自然を感じていただけるよう内装を変更しました。



車内（8両全て共通）

（一般のH100形からの変更点）

- ・座席シート生地デザイン変更
- ・脱着式テーブルの追加
- ・吊り手のデザイン変更



座席シート生地デザイン（拡大）